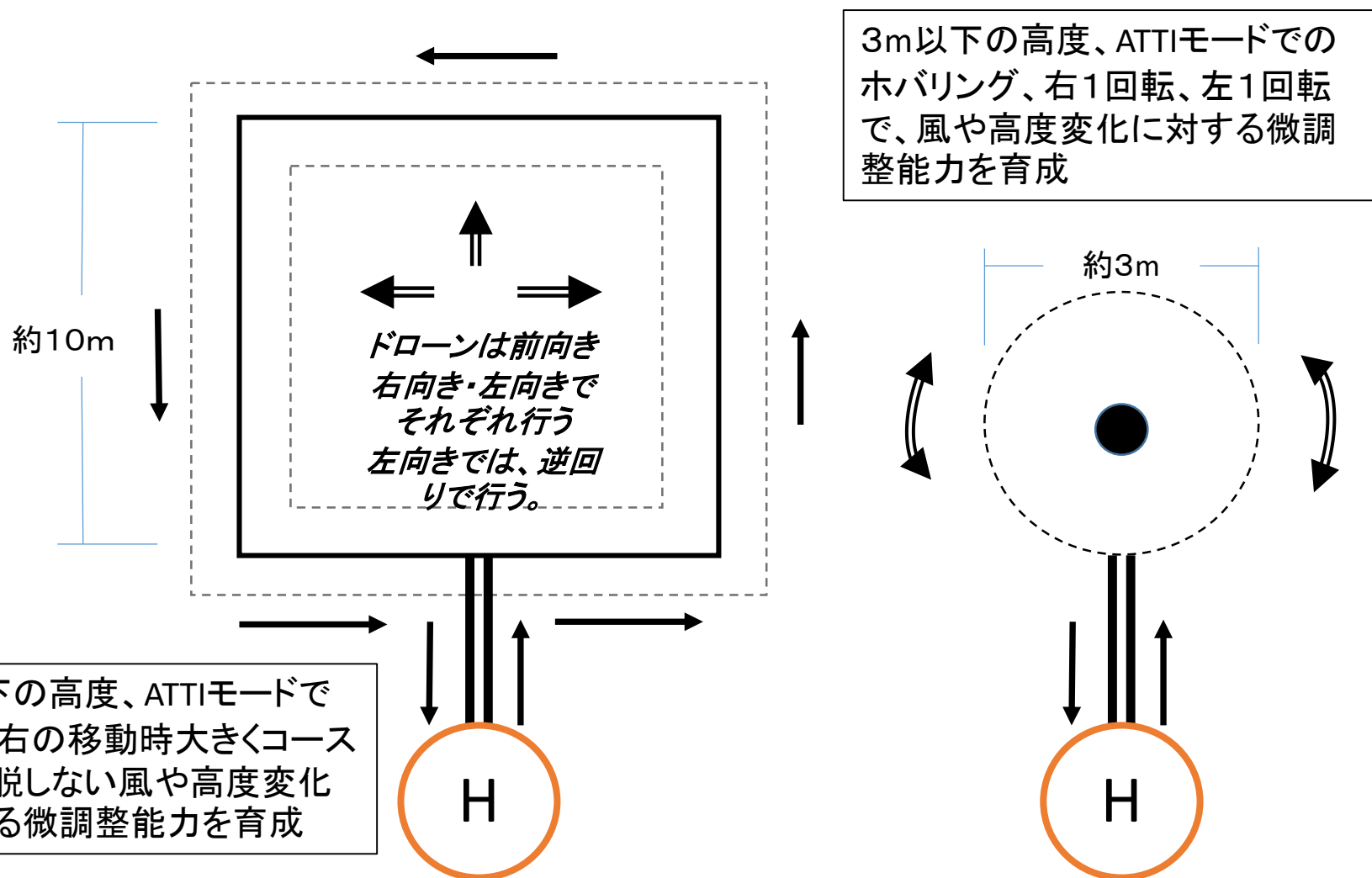
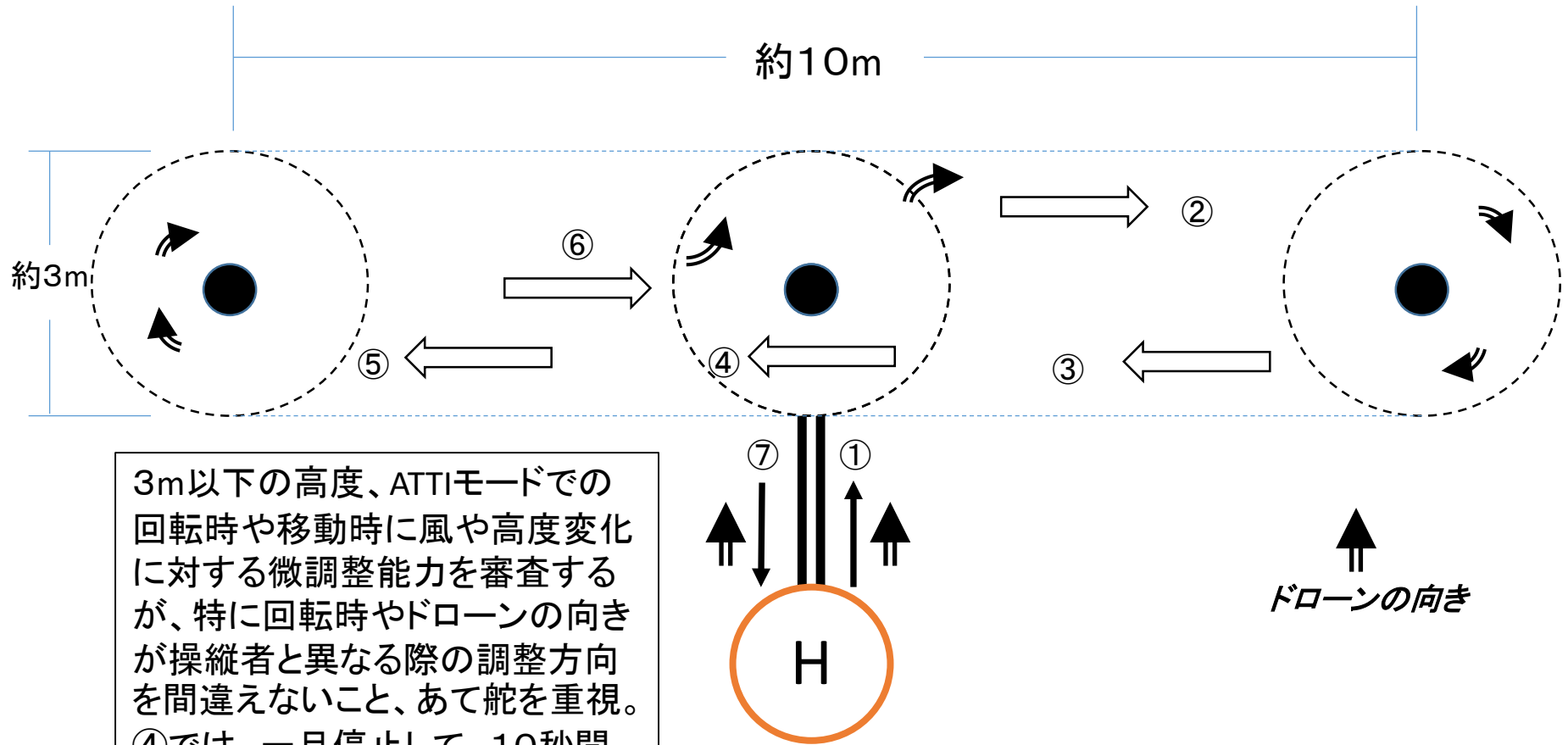




操縦技能実技修了試験準備練習課題

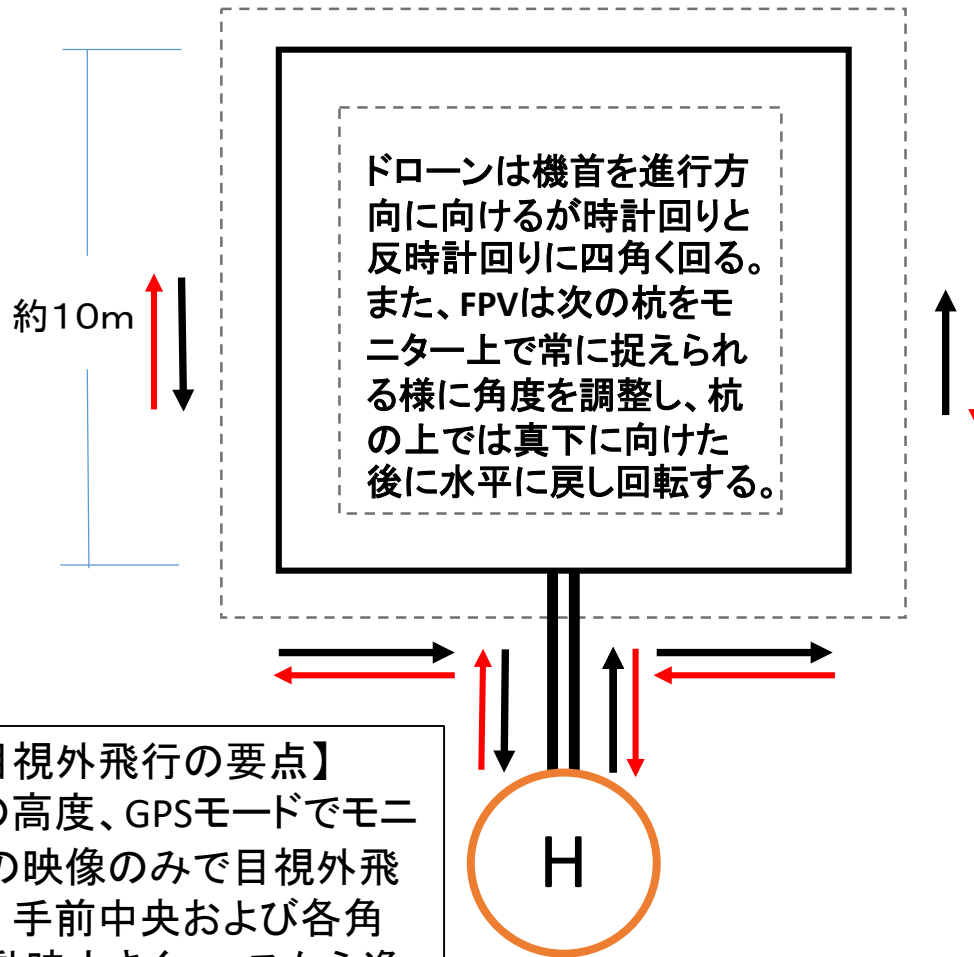


3m以下の高度、ATTIモードでの回転時や移動時に風や高度変化に対する微調整能力を審査するが、特に回転時やドローンの向きが操縦者と異なる際の調整方向を間違えないこと、あて舵を重視。④では、一旦停止して、10秒間ホバリングし、機体の状態確認、バッテリー残量確認、位置補正を行う。

操縦技能実技の修了試験



名古屋守山ドローンスクール



【目視外飛行の要点】

約3mの高度、GPSモードでモニター上の映像のみで目視外飛行する。手前中央および各角から移動時大きくコースから逸脱しない微調整能力を育成

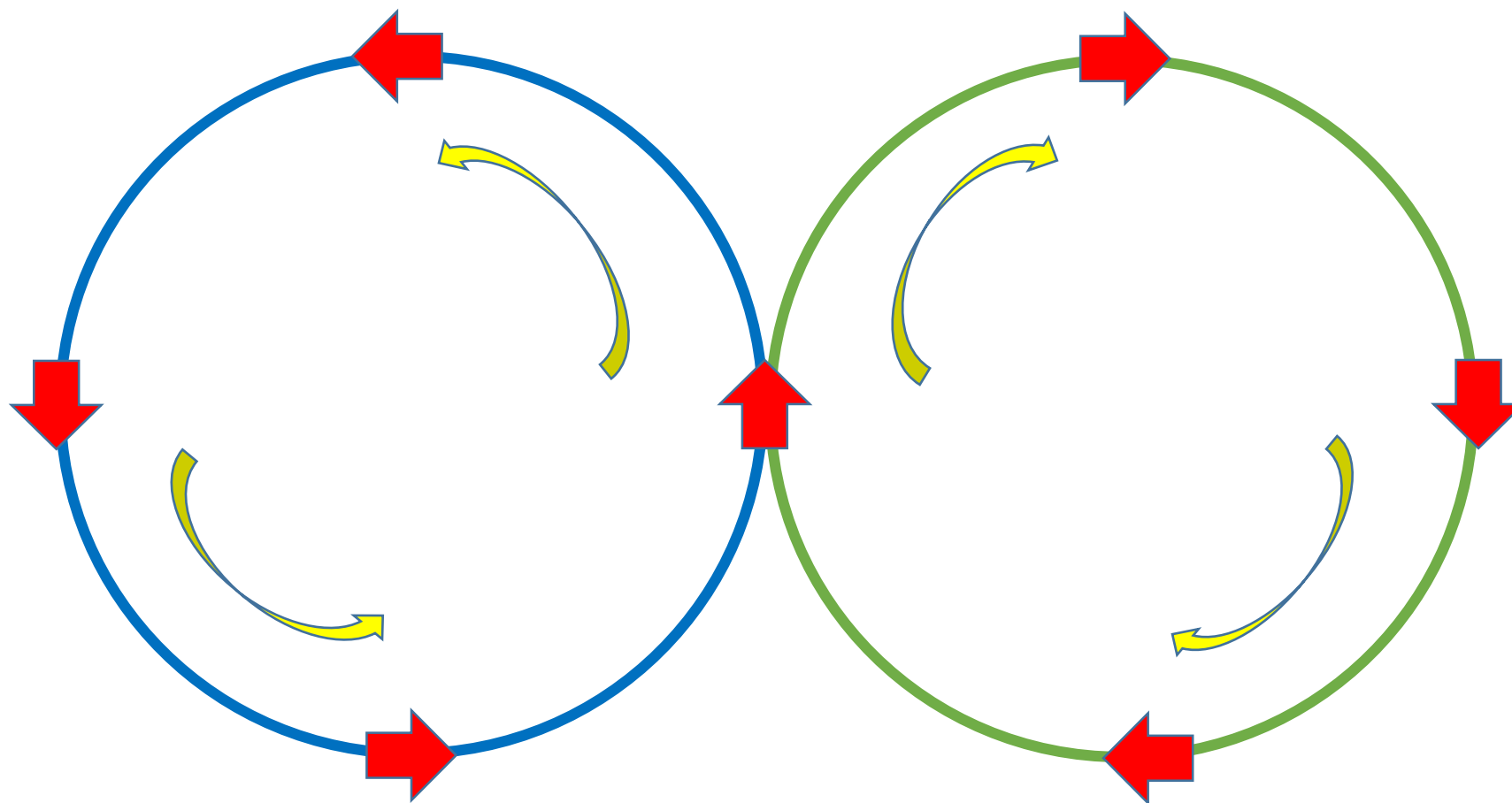
【夜間飛行の要点】

約3mの高度、GPSモードでアーム上と機体後部のLEDの灯火および杭の上部に設置された明かりを確認しつつ夜間飛行する。機体灯火と明かりの相対位置を認識し大きくコースから逸脱しない微調整能力を育成

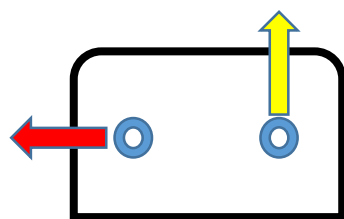
操縦技能実技夜間・目視外飛行課題



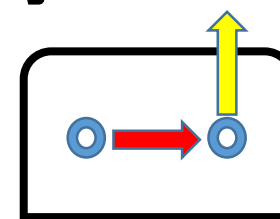
名古屋守山ドローンスクール

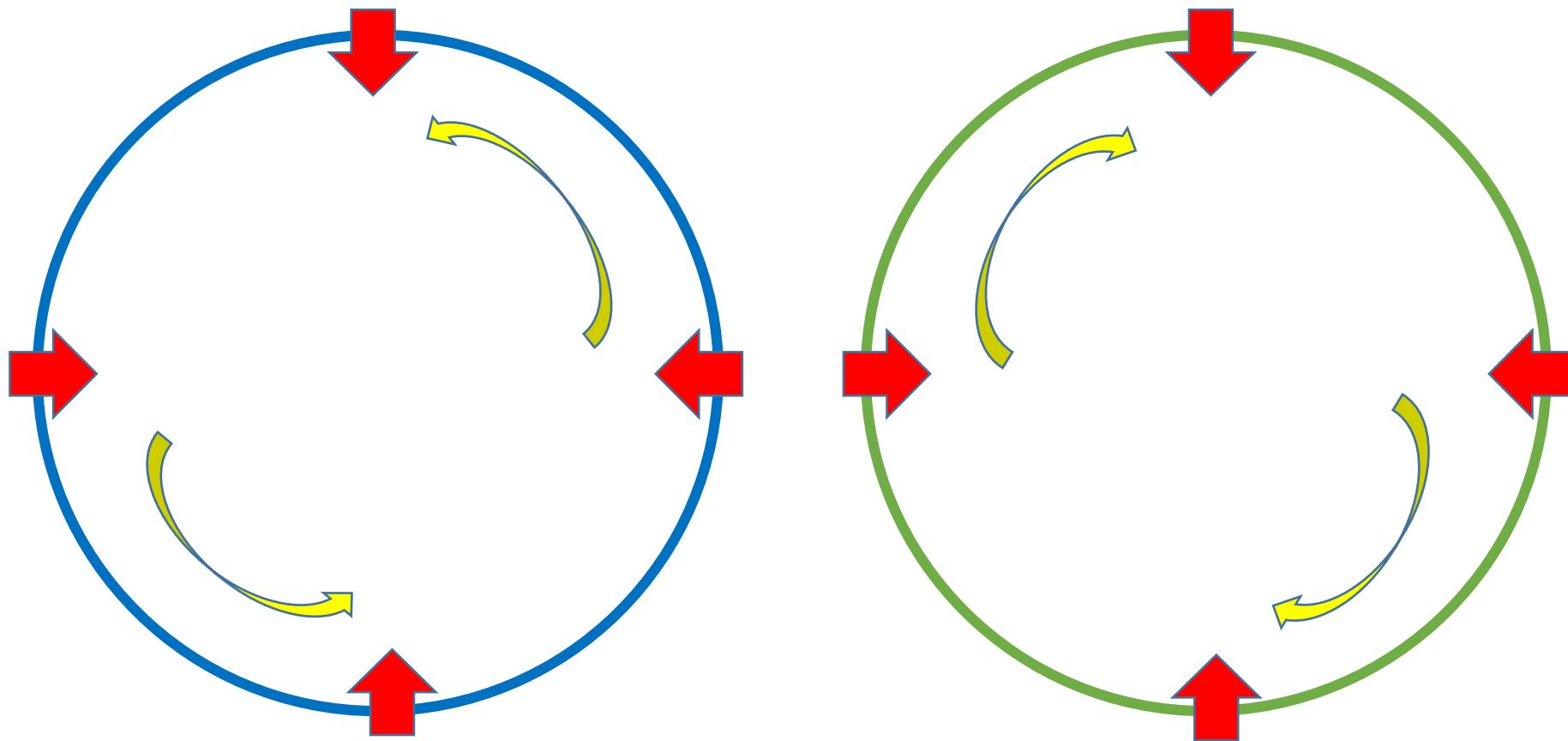


前向き8の字飛行

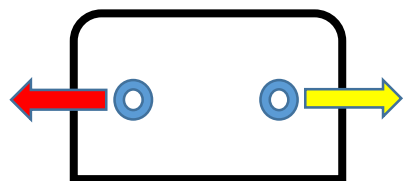


MODE2





内向き円周飛行



MODE2

